

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0324	2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		12:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日	2018年3月7日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-158		
2					
3					
4					

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリリース関連工事								
	発生場所	大型機器点検建屋								
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-129		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ダンボール	A	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:50	0.3 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:50	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンクプレイス関連工事								
	発生場所	PCB汚染物保管庫脇					2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1.2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1.8 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	木材類	A	03	D	B	0.05 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0325
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:10	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:10	1.8 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:10	0.05 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	Eタンクエリア				2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	可燃物その他(フレコンパック)			A	04	D	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	ゴム類			C	01	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0326
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:30	1.5 m ²			1
	2	1	可燃物その他(フレコンパック)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:30	2.7 m ²			1
	3	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:30	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	大型機器点検建屋				2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-129		
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材	A	03	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	難燃物その他	C	04	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0357
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月9日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 12:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0102

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H27)													
	発生場所	Cエリア													
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/2/26		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-14					
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③											
	1	木材類	A	03	D	A	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.13	mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
	3							m ²							
	4							m ²							
5							m ²								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0367
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアX	2018/3/9 9:45	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアX	2018/3/9 9:45	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥、W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0102

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日	(金)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H27)									
	発生場所	Cエリア			2018/3/1	2018/3/1	2018/2/28				
	作業主管G	処理設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ゴム類	C	01	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h
	2	ホース類	C	03	D	A	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	β 有	12 mSv/h
	3	難燃シート	C	02	D	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0368
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアX	2018/3/9 9:50	0.2 m ²			1
	2	1	ホース類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアX	2018/3/9 9:50	1.5 m ²			1
	3	1	難燃シート	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	45 μ Sv/h	エリアX	2018/3/9 9:50	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0026

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)								
	発生場所	HTI建屋 4号タービン建屋		2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5				
	作業主管G	処理設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-117F1-ICW-BL-103	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール)	A	02	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物(紙)	A	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	難燃物その他(コルゲート、PE管)	C	04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0408
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 8:00	1.8 m ²			1
	2	1	可燃物(紙)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 8:00	2.6 m ²			1
	3	1	難燃物その他(コルゲート、PE管)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 8:00	1.7 m ²			2
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日	(金)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置工事に伴う搬入路拡幅工事								
	発生場所	1F 消防車庫				2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7		
	作業主管G	防災安全グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-73			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	8 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	2	機器・制御盤類	B	03	D	A	4 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	3	ケーブル類	B	08	D	A	8 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	4	不燃物その他	B	10	D	A	10 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0431
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/9 9:20	4 m ²			1
	1	2	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/9 9:20	3 m ²			1
	1	3	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/9 11:35	3 m ²			1
	2	1	機器・制御盤類⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/9 9:20	2 m ²			1
	2	2	機器・制御盤類⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/9 10:40	2 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m ³							
	7					m ³							
	8					m ³							
	9					m ³							
	10					m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0431

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	6	μ Sv/h									
	4	1	不燃物その他 ③							エリアC	2018/3/9 9:20	0.5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難燃物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			② 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)				2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	トン袋・土のう袋・養生テープ他	A	04	D	B	3 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0001
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年3月5日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トン袋・土のう袋・養生テープ他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 9:10	0.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013802 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月5日		(月)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名		平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所		1～4号機周辺(GL-26 北)				2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G		地下水調査グループ				監理員	TEL				
	元請会社						担当者	TEL				
	線量測定年月日		2018/2/8		測定者		測定器名 ICW		管理番号	F1-ICW-356		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1		材木類			A 03 D B		2 m ²		50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
回収												
<div> <div> <div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年3月5日</div> </div> <div> <div>2018/2/14</div> <div>9:30</div> </div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div> </div> </div>												
<div> <div> <div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年3月5日</div> </div> </div> <div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)					2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ゴムホース	C	01	D	B	1 m	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無
	2	エフレックス管	C	04	D	B	1 m	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無
	3	塩ビホース	B	05	D	B	1 m	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無
	4						m			
	5						m			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0003
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年3月6日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴムホース	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:00	0.05 m			1
	2	1	エフレックス管(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:00	0.5 m			1
	3	1	塩ビホース	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:00	0.05 m			1
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

作業主管理	保管希望日時	2018年3月8日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
	発生場所	1F構外					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/6	
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材類	A	03	D	A	5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A	04	D	A	5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
入 欄	3	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	A	5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	4	スーパーハウス	B	10	D	A	40 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	5						m ³			
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 不明物品扱い									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0006
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月8日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 12:00	7 m ³			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 12:00	1 m ³			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 12:00	2 m ³			1
	4	1	スーパーハウス ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/8 12:00	40 m ³			2
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0018

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	セシウム吸着塔交換管理他業務委託								
	発生場所	1F構内 HTI建屋東側 (GK-27北)								
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/6		測定者			測定器名	ICW/ICWBL		
							管理番号	079/16		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
		①	②	③					$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ウエス	A	01	W	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
メ モ	2	オイルマット	A	04	W	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	ビニール	A	02	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4									
	5									
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0013
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月6日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 10:45	0.01 m ²			1
	2	1	オイルマット	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 10:45	0.01 m ²			1
	3	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 10:45	0.01 m ²			1
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
高2018	—	03	—	0017	2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月7日		10:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容					
測定日	2018年3月7日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-158		
2					
3					
4					

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】										
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)					2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL						
	元請会社				担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者	測定器名		電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-113			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	発泡スチロール			A	02	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メモ	回収 大型メンテナンス建屋廻り北西側											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/7 10:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0018
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】										
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)					2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-113				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	発泡スチロール			A	02	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	回収 大型メンテナンス建屋廻り北西側											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/7 10:15	3.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)					2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-113
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	発泡スチロール	A	02	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	回収 大型メンテナンス建屋廻り北西側									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0019
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/8 10:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	12:00	承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】						
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)			2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23	
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員	TEL				
	元請会社		担当者	TEL				
線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-113	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			β・α 汚染の有無	
	1	発泡スチロール	A	02	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h
	2						m ²	
入欄メモ	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
	回収 大型メンテナンス建屋廻り北西側							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0020
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月8日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	1	発泡スチロール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/8 10:30	6 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)									
	発生場所	6号機 屋外取水エリア(GI-15東)				2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27			
	作業主管G	機械グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	$\beta + \alpha$ 用電離箱				
						管理番号	F1-1CWBL-27				
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	ゴム類	C	01	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	難燃シート類	C	02	W	B	0.6 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	海生物(貝殻)	A	04	W	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0024
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月6日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:50	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:50	0.2 m ²			1
	3	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:50	0.05 m ²			1
	4	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:50	0.05 m ²			1
	5	1	海生物(貝殻)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 9:50	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	木材類	A	03	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	03	—	0024

[illegible]

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0029	
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他(GP-20)					2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-113	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	発泡スチロール		A	02	D	B	5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2							m ²				
3							m ²				
4							m ²				
5							m ²				
メモ	回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0025
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/9 10:45	7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	D	伐採木							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月13日	(火)	11:00	承認	審査	作成													
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																		
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GP-20)			2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26													
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-113													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	発泡スチロール	A						02	D	B	5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0026
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 10:45	6.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日	(水)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																		
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)			2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26													
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72												
No.	保管物名	※カテゴリ				物'量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率										
		①	②	③																
		1	PE管	C	04						D	B	5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
4						m ²														
5						m ²														
メモ	回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	03	—	0029
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月5日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 10:30	5.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:00		承認	審査	作成											
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																		
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GP-20)					2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26											
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL												
	元請会社				担当者			TEL												
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	PE管	C						04	D	B	5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
メ モ	回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0030
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月5日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 11:10	4.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月14日	(水)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他(GP-20)			2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号				
							F1-ICWBL-72				
G 記 入 欄	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
メ モ	回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0031
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月6日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/6 11:00	4.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0032
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)				2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)									

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 10:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)					2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
入欄メモ	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0033
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月7日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 11:15	4.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日	(水)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)			2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無				
	1	PE管	C	04	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	$\beta + \gamma$ 線量率
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0034
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 10:55	5.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日	(水)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GP-20)			2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26		
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-72		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	PE管	C 04	D B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	ビニール	A 02	D B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3				m ²				
	4				m ²				
	5				m ²				
	回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0035
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月8日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	PE管	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 11:10	2 m ²			1
	2	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/8 11:10	0.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013708 - 0029		固体廃棄物管理G記入欄		受付						
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年3月13日			(火)		10:30			承認		審査		作成							
	作業件名		雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																			
	発生場所		B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)						2018/2/26		2018/2/26		2018/2/26									
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL											
	元請会社						担当者				TEL											
線量測定年月日		2018/1/17		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-72								
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率								
			①	②	③																	
	1	紙	A	01	D	B	3	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無									
	2	フレコンパック	A	04	D	B	2	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無									
	3							m ²														
4							m ²															
5							m ²															
回収 大型メンテナンス建屋廻り北西側																						
線量測定内容																						
測定日		2018年3月9日																				
測定No.		氏名		測定器		管理番号																
1				ICW		F1-ICW-158																
2																						
3																						
4																						
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	紙		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/9 10:30		0.6 m ²						1	
	2	1	フレコンパック		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/9 10:30		1.7 m ²						1	
															m ²							
															m ²							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
※カテゴリー																						
①	A	可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—									
			06 —		07 —		08 —		09 —		10 —											
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
	11 フランジタンク本体			12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —												
	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—									
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—									
	D	伐採木																				
	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」											
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																						
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																						
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0037
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月9日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)				2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	廃プラスチック	A 02	D B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	ビニール	A 02	D B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	フレコンパック	A 04	D B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4				m ²					
5				m ²					
メ モ	回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)								

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	廃プラスチック	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 12:10	1.3 m ²			1
	2	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 12:10	0.3 m ²			1
	3	1	フレコンパック	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 12:10	0.4 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012801 - 0010						
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	10:30		承認	審査	作成							
	作業件名	1号T/B地下階除染														
	発生場所	事務所(GT-23)						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27						
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員			TEL							
	元請会社					担当者			TEL							
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-214						
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
		①	②	③												
	1	塩化ビニール類	B	05	D	B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h					
	2	紙・ウエス	A	01	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.4 mSv/h					
	3	可燃物その他	A	04	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.3 mSv/h	β 有	0.7 mSv/h					
	4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h					
メ モ	5	難燃シート類	C	02	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h					
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類		5 μSv/h		30 μSv/h		60 μSv/h		エリアX	2018/3/5 10:40	2 m ²			1
	2	1	紙・ウエス		5 μSv/h		120 μSv/h		170 μSv/h		エリアX	2018/3/5 10:40	1.5 m ²			1
	3	1	可燃物その他		5 μSv/h		50 μSv/h		300 μSv/h		エリアX	2018/3/5 10:40	1.5 m ²			1
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		5 μSv/h		50 μSv/h		100 μSv/h		エリアX	2018/3/5 10:40	1 m ²			1
	5	1	難燃シート類		5 μSv/h		150 μSv/h		500 μSv/h		エリアX	2018/3/5 10:40	1.5 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0047
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月5日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰 囲 気 線 量 率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚 染 の 有 無	$\beta + \gamma$ 線 量 率	
			①		②			③						
	6	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ³	0.006	mSv/h	0.005	mSv/h	無		
	7						m ³							
	8						m ³							
	9						m ³							
	10						m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	03	—	0047

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6012801	-	0010
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	11:00		承認		審査		作成						
	作業件名	1号T/B地下階除染															
主	発生場所	事務所(GT-23北)						2018/2/27		2018/2/27		2018/2/27					
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員				TEL							
管	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2018/2/22		測定者		測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号		F1-ICW-214					
G	No.	保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③												
記	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無				
	2	難燃シート類	C	02	D	B	1.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無				
入	3							m ²									
	4							m ²									
欄	5							m ²									
メモ	回収																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	03	—	0048	
調整後保管日時		2018年3月5日			2018/2/28 11:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	3 μ Sv/h		エリアO	2018/3/5 11:25	1.6 m^3			1
	2	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/5 11:25	1.4 m^3			1
									m^3			
									m^3			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2～4T／B地下スラッジ調査								
	発生場所	事務所(GT-23北)						2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-214	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	塩化ビニール類			B 05 D B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
2	紙・ウエス			A 01 D B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
3	可燃物その他			A 04 D B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0049
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月5日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 11:25	1.5 m ²			1
	2	1	紙・ウエス	2 μSv/h	14 μSv/h		エリアO	2018/3/5 11:25	1 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 11:25	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013305 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	雑固体焼却施設運転(H28年3月運転開始)										
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋(GL-12南)					2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28			
	作業主管G	運営グループ			監理員	TEL						
	元請会社				担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-332		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	難燃シート			C	02	D	B	0.1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2	難燃テープ			C	04	D	B	0.1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
回収												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0050
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月6日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/6 10:50	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	小口工事								
	発生場所	登録センター周辺 (GT-20 中央)				2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28		
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	電離箱サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-371		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	ビニールテープ、ポリ袋	A	02	D	B	0.05 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μSv/h	無
2	包装紙、段ボール、キムタオル	A	01	D	B	0.12 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.02 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0051
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニールテープ、ポリ袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 11:05	0.05 m ²			1
	2	1	包装紙、段ボール、キムタオル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 11:05	0.05 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 11:05	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日	(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/3/1	2018/3/1	2018/2/28			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者	測定器名		F1-ICW	管理番号	237		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0052
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月5日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/5 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月5日		(月)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/3/1	2018/3/1	2018/2/28		
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	237		
	G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
			①	②	③							
		1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
		2						m ²				
3							m ²					
4						m ²						
5						m ²						
メ モ	回収											

線量測定内容											
測定日	2018年3月5日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/3/5 9:35	4 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/3/1	2018/3/1	
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	237	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1 紙類	A	01	D	A	5 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0054
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月6日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/6 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
② 状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001																																																																																																						
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成																																																																																																						
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																																																																																																													
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2018/3/1	2018/3/1	2018/2/28																																																																																																							
	作業主管G		総務グループ				監理員	TEL																																																																																																								
	元請会社						担当者	TEL																																																																																																								
	線量測定年月日		2018/2/22		測定者		測定器名		F1-ICW 管理番号 237																																																																																																							
	No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																	
	1		紙類		A 01 D A		5 m ²		6 μSv/h		6 μSv/h		無																																																																																																			
	2						m ²																																																																																																									
	3						m ²																																																																																																									
4						m ²																																																																																																										
5						m ²																																																																																																										
回収																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年3月6日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年3月6日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4																																																																												
線量測定内容																																																																																																																
測定日	2018年3月6日																																																																																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																													
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																																													
2																																																																																																																
3																																																																																																																
4																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>枝番</th> <th>保管物名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>β+γ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>紙類</td> <td>2 μSv/h</td> <td>2 μSv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/6 9:35</td> <td>4 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/6 9:35	4 m ²			1									m ²												m ²												m ²												m ²																																
No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																					
1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/6 9:35	4 m ²			1																																																																																																					
								m ²																																																																																																								
								m ²																																																																																																								
								m ²																																																																																																								
								m ²																																																																																																								
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																
メ																																																																																																																
モ																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">B</th> <th rowspan="3">不燃物</th> <th colspan="2">01 金属ガラ</th> <th colspan="2">02 コンクリートガラ</th> <th colspan="2">03 機器類・制御盤類</th> <th colspan="2">04 土砂類</th> <th colspan="2">05 塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06 保温材</th> <th colspan="2">07 石綿含有物</th> <th colspan="2">08 ケーブル類</th> <th colspan="2">09 アスファルトガラ</th> <th colspan="2">10 不燃物その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">11 フランジタンク本体</th> <th colspan="2">12 フランジタンク付属品</th> <th colspan="2">13</th> <th colspan="2">14</th> <th colspan="2">15</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <th colspan="2">01 ゴム類</th> <th colspan="2">02 難燃シート類</th> <th colspan="2">03 ホース類</th> <th colspan="2">04 難燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">01 伐採木(幹・根)</th> <th colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</th> <th colspan="2">03</th> <th colspan="2">04</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">②</th> <th rowspan="2">状態</th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th colspan="2">③</th> <th colspan="2">履歴</th> <th colspan="4">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="11"> 注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 </td> </tr> </tbody> </table>												※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。										
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他						05																																																																																																
				06		07		08		09				10																																																																																																		
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類				05 塩化ビニール類																																																																																																		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ				10 不燃物その他																																																																																																		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																				
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																						
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																						
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																								
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0007

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	緑化地帯維持管理業務									
	発生場所	1F構内(エリアT)(GJ-34 南東)				2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-135			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
	1	雑草	A	04	W	A	5 m ²	0.001 mSv/h	0.004 mSv/h	無	β + γ 線量率
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0061
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	雑草	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:45	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	緑化地帯維持管理業務							
	発生場所	1F構内(エリアT)(GJ-34 南東)					2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICW		管理番号
								F1-ICW-135	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無
1	雑草	A	04	W	A	5 m ²	0.001 mSv/h	0.004 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0062
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	雑草	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/7 9:45	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木								
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)											
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。											
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。											

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0048

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0066
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	9:00		承認	審査	作成
	作業件名	タンクヤード除草作業							
	発生場所	NO, 1地下貯水槽廻り及び給油所周辺エリア(GS-22北東側)						2018/3/1	2018/3/1
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-222
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ウエス類	A 01	W A	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2	紙類	A 01	D A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	3	木材(パレット)	A 03	D A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
4	可燃物その他	A 04	D A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無		
5	難燃シート類	C 02	D A	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	無		
メ モ	回収								

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 9:00	0.1 m ²			1
	2	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 9:00	0.2 m ²			1
	3	1	木材(パレット)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 9:00	0.5 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 9:00	0.1 m ²			1
	5	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/9 9:00	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0050

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	NW水処理設備修理工事								
	発生場所	水処理建屋北側大物搬入口(GQ-18北)				2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-233
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	紙・ウエス	A	01	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
2	プラスチック・ストレーナ	A	02	D	A	2.2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	木材(パレット)	A	03	D	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	03	—	0067
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月9日		12:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μSv/h	5 μSv/h		エリアO	2018/3/9 12:20	1.4 m ²			1
	2	1	プラスチック・ストレーナ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/9 12:20	3 m ²			1
	3	1	木材(パレット)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/9 12:20	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニル類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0005		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月6日		(火)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	工事用重機・車両の管理・運用委託										
	発生場所	スラッジャード						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2		
	作業主管G	保全計画グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICBW-72		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	ワイヤーロープ			①	②	③	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無		
2							m ²					
3							m ²					
4							m ²					
5							m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0068
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月5日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		ワイヤーロープ ⑩	5	μSv/h	7	μSv/h			エリアC	2018/3/5 12:40	3 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月7日		(水)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	工事用重機・車両の管理・運用委託								
	発生場所	スラッジャード								
	作業主管G	保全計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	1F-ICBW-72
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	ワイヤーロープ	B	01	D	B	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0069
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月6日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月6日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ワイヤーロープ ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/6 12:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄には「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0070
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月7日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月9日		(金)	13:00	承認	審査	作成	
	作業件名	工事用重機・車両の管理・運用委託							
	発生場所	スラッジャード					2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2
	作業主管G	保全計画グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	1F-ICBW-72	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	ワイヤーロープ	①	②	③	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
4					m ²				
5					m ²				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ワイヤーロープ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/7 12:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0005																																																																																					
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	13:00		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	工事用重機・車両の管理・運用委託																																																																																													
	発生場所	スラッジャード						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2																																																																																					
	作業主管G	保全計画グループ				監理員	TEL																																																																																								
	元請会社					担当者	TEL																																																																																								
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICBW-72																																																																																					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																					
	1	ワイヤーロープ		B	01	D	B	3 m	3 μSv/h	3 μSv/h	無																																																																																				
	2							m																																																																																							
	3							m																																																																																							
4							m																																																																																								
5							m																																																																																								
メ																																																																																															
モ																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <td>測定日</td> <td colspan="11">2018年3月9日</td> </tr> <tr> <td>測定No.</td> <td>氏名</td> <td>測定器</td> <td colspan="9">管理番号</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </thead> </table>												線量測定内容												測定日	2018年3月9日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICWBL	F1-ICWBL-55									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日	2018年3月9日																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
	1	1	ワイヤーロープ ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/9 9:10	3 m			1																																																																																			
									m																																																																																						
									m																																																																																						
									m																																																																																						
									m																																																																																						
									m																																																																																						
									m																																																																																						
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																														
	メ																																																																																														
モ																																																																																															
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																															